

令和2年度 能美市立辰口中学校 学校評価 計画

重点目標 (めざす姿)	具体的方策	主担当	【評価指標】 ＜成果指標＞＜努力指標＞ ＜満足度指標＞	【評価の根拠】 達成度判断基準	取り組みの成果 及び課題への対策	評価
1	組織的な学校運営	①情報共有を充実させ、主任等を中心とした同僚性・専門性を活かし研修・協働する中で、教員の資質能力の向上を図る。	＜成果指標＞ 主任層のリーダーシップのもと、各分掌と学年が縦横の連携を図り、教員が資質能力を高め、組織的な学校づくりを行う。	＜教職員アンケート1＞ 学校経営ビジョンを理解し、必要な情報を共有し連携を図り、一人一人が資質能力を高めて組織としての高まりを実感しているか。		
		②「気づき」を大切に、常に改革・開発の意識でカリキュラム・マネジメントを充実させ、自身の働き方を見直し業務の改善・効率化を図る。	＜努力指標＞ 見直しを持ち業務の改善・効率化を図り、勤務時間の短縮に努め、月2回定時退校している。	＜教職員アンケート2,3＞ 常に課題意識を持ち、周囲に伝えながらよりよい学校づくりに参画し、見直しを持ち効率的に業務を行い、勤務時間を短縮できたか。		
		③安全対策や危機管理の意識と指導力を高め、いじめや不登校等に対し組織として計画的に未然防止に取り組むとともに対応を迅速に行う。	＜努力指標＞ 情報交換を密に行い、各主任や担任・学年会が縦横の関係でいじめ・不登校に対し組織的に対応している。	＜教職員アンケート4＞ 情報の共有化が密にできており、いじめ・不登校傾向にある生徒に対し、未然防止や早期の適切な対応ができたか。		
2	確かな学力の育成(知)	①教科と総合的な学習の時間の学びを往還させて、「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業を展開する中で、授業をコーディネートする力を高め、授業改善を図る。	＜努力指標＞ 各教科および総合的な学習の時間で、生徒の思考を促す工夫を行い、まとめと振り返りを充実させ、主体的・対話的で深い学びを実現する。	＜教職員アンケート5＞ ＜生徒アンケート19＞ 生徒自身に、思考・判断し表現させることを積極的に行っているか。生徒が学びの高まりを実感しているか。		
		②「授業の辰人スタイル」を身に付け、生徒の自ら学ぶ積極的な態度を育てるとともに、生徒全員が「わかる・できる」授業をめざす。	＜満足度指標＞ 「授業の辰人スタイル」を意識した授業を行い、場面を逃さずほめ、生徒全員が「わかる・できる」と実感できる授業を創る。	＜教職員アンケート6＞ ＜生徒アンケート17＞ 自ら学ぶ積極的な態度が身につき、授業がわかり、できるようになった実感があるか。		
		③学びのPDCAを構築し、計画的、組織的に学力の検証と学びの改善を重ね、基礎的知識・技能の定着と、これらを活用する思考力・判断力・表現力を育成する。	＜成果指標＞ 学力向上ロードマップ(※)を活用し、様々な面から思考力・判断力・表現力の向上に努めている。	＜教職員アンケート7＞ PDCAサイクルを実施し、学力の検証・改善がなされ、様々な面での学力の向上に表れているか。		
3	豊かな心の育成(徳)	①集団の中での自分の役割を果たすことを通して自己肯定感を高められるよう、認め合える温かな学級づくりをめざす。	＜満足度指標＞ 生徒指導の三つの機能を意識し、学習集団、生活集団としての機能を高める学級づくりに努めている。	＜教職員アンケート9＞ ＜生徒アンケート28＞ Q-Uアンケート結果や生徒面談を活かし、親和的な学級づくりに努めているか。生徒の自己肯定感が高まっているか。		
		②生徒会活動やボランティア活動を通して自治・自浄の能力を高めるとともに、他のために役立つ自己を実感させる。	＜満足度指標＞ 生徒会活動やボランティア活動に積極的に取り組み、開発的生徒指導を行っている。	＜生徒アンケート25＞ 生徒会活動やボランティア活動が活発で、自己有用感が高まっているか。		
4	健やかな心身の育成(体)	①生徒の不安や悩みを迅速に把握し、解消できるように相談体制や居場所を充実させ、困り感のある生徒には個に応じた配慮を工夫する。	＜満足度指標＞ 教育相談体制を充実させ、生徒の実態を把握・共有し、問題の解消に努めている。	＜保護者アンケート5＞ 学校は、不安を持っている生徒や困っている生徒の実態を把握し、問題の解消に努めているか。		
		②家庭と連携してインターネットのルールを徹底するとともに、起きる時間、寝る時間、学習時間を確保するなど望ましい生活習慣の確立を図る。	＜満足度指標＞ 家庭と学校の連携力が高まり、家庭のネットのルールが守られ、良い成果が出てきている。	＜保護者アンケート8,9＞ ネットトラブルやネット依存防止のために、フィルタリングやルール作りを行っているか。 ＜生徒アンケート22＞ 時間の3点確保を行い、望ましい生活習慣が確立できたか。		
		③体育的活動・部活動を中心に体力を高めるとともに、ねばり強い精神力及び親和的な人間関係を育む。	＜成果指標＞ 体育的活動・部活動を通じ、体力を向上させ親和的な人間関係を育み、粘り強く努力する心づくりに努めている。	＜教職員アンケート10＞ 生徒が粘り強く努力する姿は向上しているか。		
5	家庭や地域との連携	①地域の特色を積極的に学習に活かす中で地域の未来や、社会貢献、自分の生き方を考える等、教育活動の更なる充実を図る。	＜努力指標＞ 地域のヒト・モノ・コトを活用し、地域や自分の在り方を考え、社会貢献できる生徒づくりに努めている。	＜教職員アンケート12＞ キャリア教育の視点を持ち、地域を生かした教育活動が行えたか。 ＜生徒アンケート13＞ 地域とのつながりを考え、地域の方々や先生から学ぶことができたか。		
		②学校運営協議会を設置し、学校・家庭・地域の協力体制を構築し、よりよい学校づくりを推進する。	＜満足度指標＞ 学校と家庭、地域の連携力が高まり、良い成果が出てきている。	＜保護者アンケート10＞ 学校と家庭、地域が連携して子どもを育てていると感じているか。		